

日本  
無類

阿蘭陀自然車

右陣以上

一向暑之切近井水不流所中様益清操類能仕遊出程恐慌不熱有存以隨而私後  
 付及在涉流入の自然車之機支生年切毛不離散源の利方を大車と造り  
 今水力を牛馬之力に不用輪の中、法中合仕紙十二の切を石臼の中に入れし  
 一時の働は夏日本を損友の毛自然車と名附世に流布仕る者河車初日の機と  
 清光來る程類を希上る

細工人長清 福井軒

惣寸法

- 大車 五丈八尺
  - 真木 戴丈
  - 羽車 四尺五寸宛六枚
  - 同小 二尺一寸き枚
  - 引臼 三尺 きッ
  - 丸臼 九尺宛四挺
  - 臼橋 四挺
  - とろし 三尺 きッ
- 此外ハ略ス

